

平成18年度 第3回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨(案)

1. 日時・場所：平成18年11月28日(火) 10:00～12:00

中央合同庁舎5号館共用第8会議室

2. 出席者：

(検討会委員)：上野委員、田中委員、森田委員、花岡委員、平田委員、山里委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員

(環境省)：環境保健部長、企画課長、調査官、環境リスク評価室長ほか

(オブザーバー)：茨城県、神栖市、神奈川県、平塚市

3. 議事概要

(1) 議題1「茨城県神栖市における地下水モニタリング(夏季)の結果について」

事務局より、資料3に基づき、神栖市における地下水モニタリング(夏季)の結果についての報告を行った。地下水モニタリングについては、今後の方針として、引き続き、地下水の定期的なモニタリングを継続することが確認された。

(2) 議題2「神奈川県平塚市における環境調査の結果について」

事務局より、資料4に基づき、神奈川県平塚市における地下水モニタリング(春季・夏季)の結果について、資料5・6に基づき、旧相模海軍工廠化学実験部跡地内及び同跡地外の北部地域における表層土壌調査等の結果及び今後の対応方針について説明を行った。表層土壌調査の結果、有機ヒ素化合物に汚染された土壌及び有機ヒ素化合物の原体と考えられる白い塊が発見され、今後の対応方針として、将来における環境リスクの低減の観点から、環境省において掘削、除去、処理等を行う方針が決定された。

(3) その他

事務局より、資料8に基づき、平成17年度に実施した有機ヒ素化合物に汚染された土壌及び地下水の浄化技術に関する調査研究の結果概要について報告を行った。また、資料9に基づき、茨城県神栖市における汚染土壌等の本格処理の開始について、資料10に基づき、ジフェニルアルシン酸(DPAA)等の健康影響に関する調査研究及びDPAAの毒性試験の結果概要についての報告を行った。